

課題名	気管支喘息患児における新型コロナウイルス流行と増悪の関連
承認番号	2022-5 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 小児科 氏名 磯崎 淳
研究期間	(西暦) 2022年6月 ~ (西暦) 2022年11月
研究の意義・目的	新型コロナウイルスの発生は、様々な小児医療に影響を与えています。オミクロン株の流行に伴い、いわゆる“第6波”では小児での感染が激増しています。これまでの新型コロナウイルスの感染では、小児の気管支喘息が増悪するとはありませんが、オミクロン株が気管支喘息患児に与える影響は明らかではありません。本研究はいわゆる“第6波”において新型コロナウイルスが気管支喘息のお子さんへどのような影響をもたらすかを明らかにすることが目的であり、今後の新型コロナウイルス流行期での対応の一助となる意義があります。
研究の方法 (対象期間含む)	2022年3月から5月の調査期間中に、気管支喘息のため定期受診したお子さんを対象に、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス予防接種歴</li> <li>・新型コロナウイルスへの感染の有無</li> <li>・気管支喘息増悪の有無</li> <li>・ぜん息コントロール状態の評価 (指標である C-ACT/ACT、JPAC による評価)</li> </ul> を、カルテ記載します。情報がまとまったところで、これらを検討します。おな、これらは通常診療に必要な情報です。また、検討に十分な感染の患児数があれば、新型コロナウイルス感染群、非感染群の2群で、気管支喘息の増悪の有無、コントロール状態の比較を行います。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	患者さんの診療録から必要な情報を電子カルテのファイルサーバー内にパスワードをかけファイルを保存します。得られた情報は本研究のみで利用し、検討が終了したら、速やかにファイルは削除します。お名前などの個人が特定できる情報を使用することはありません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	おこさんの診療情報 (年齢、性別、治療管理薬、新型コロナウイルス予防接種歴、 新型コロナウイルスへの感染の有無、気管支喘息増悪の有無、ぜん息コントロール状態の評価) なお、ぜん息コントロール状態の評価は質問紙であるぜん息コントロール評価(C-ACT/ACT)、喘息コントロールプログラム(JPAC)を利用します。
試料・情報を 利用する者の範囲	研究責任医師：小児科 磯崎 淳 研究分担医師：小児科 安藤 枝里子, 小張 真吾, 松尾 晶子
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 所属 小児科 氏名 磯崎 淳
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 小児科 氏名 磯崎 淳 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) /FAX:045-628-6101